

専攻及び受験曲名等の申告票（令和4年度）

氏名

受験 番号	
----------	--

A欄には、希望する専攻を選んで○印を書き、B欄には、A欄で○印をつけた専攻の課題についてそれぞれの指示に従って記入すること。

A欄	専攻	B欄（受験曲名等）	
	声楽	課題 a	「コンコーネ50番練習曲」第13番、第16番 〔低声用 中声用 高声用〕（○で囲む。） ※出版社名を右の（ ）の中に記入する。（ ）
		課題 b	曲名を一つ選び下の（ ）に○を記入する。その調性、日本語・原語の別について○で囲む。 （ ）「夏の思い出」……………〔ニ長調 変ホ長調 へ長調〕 （ ）「浜辺の歌」……………〔へ長調 ト長調 変イ長調〕 （ ）「帰れソレントへ」……………〔ハ短調 ニ短調〕〔日本語 原語〕 （ ）「Caro mio ben」……………〔ハ長調 変ホ長調 へ長調〕 （ ）「Nel cor più non mi sento」…〔変ホ長調 へ長調 ト長調〕 （ ）「Nina」……………〔ニ短調 ホ短調 ト短調〕 （ ）「Sebben, crudele」……………〔ハ短調 ニ短調 ホ短調〕
	ピアノ	課題 a 課題 b	J. S. バッハ：「平均律クラヴィーア曲集 第1巻」第9番 ホ長調 BWV854 フーガ ベートーヴェン：ピアノソナタ〔第2番Op. 2-No. 2 第4番Op. 7 第7番Op. 10-No. 3 第11番Op. 22 第15番Op. 28 第16番Op. 31-No. 1〕（○で囲む。）の第一楽章
	ヴァイオリン	課題 a 課題 b	専攻実技課題曲集 No. 1 ヴァイオリンの課題 モーツァルト：協奏曲〔第3番(K. 216) 第4番(K. 218) 第5番(K. 219)〕 （○で囲む。）の第一楽章
	ヴィオラ	課題 a 課題 b	専攻実技課題曲集 No. 2 ヴィオラの課題 H. エクレス：ソナタ（ト短調・ヴィオラ用、ポール・クレンゲル編による。）
	チェロ	課題 a 課題 b	専攻実技課題曲集 No. 3 チェロの課題 J. ウェルナー：「チェロ教則本」〔No. 3 No. 6 No. 10a No. 11a No. 13a No. 17a No. 18 No. 20〕（○で囲む。）
	コントラバス	課題 a 課題 b	専攻実技課題曲集 No. 4 コントラバスの課題 F. シマンドル：「30エチュード」〔No. 1 No. 2 No. 3〕（○で囲む。）
	フルート オーボエ クラリネット ファゴット ホルン トランペット トロンボーン テューバ	課題 a 課題 b	専攻実技課題曲集 No. 5～14のうち、それぞれの楽器の課題曲 1～3について記入する。下記の注意*を参照のこと。 1 曲名・作品番号等 2 作曲者名 3 編曲者名
	打楽器 （演奏楽器を ○で囲む。） ・小太鼓 ・マリンバ		
コントラバス、小太鼓について、検査会場の楽器を使用 〔 する しない 〕（○で囲む。）			

注意 * 声楽、管楽器及び打楽器の課題 b については、出願の際、この申告票とともに楽譜（写し）〔大きさはA4判〕を1部提出すること。提出する楽譜の最終ページの裏面左下に、氏名を記入すること。